

手話の学習交流会

平成30年度らしつよチャレンジ
代表 国文学科2回生 北澤奈美

障害を持って生活するとはどういうことなのか、特に耳から情報が入らないという生活への理解は、まだ不十分に感じられます。この交流会は、「手話に興味はあるけど、学び方がわからない」という声をもとに、手話や聴覚障害者と出会う、その最初の小さなきっかけとして企画しました。簡単な手話を習得するところから、障害への理解を深め、手話はろう者の”言語”であることを知り、関わりをもってもらいたいと思いました。

今回は、簡単な挨拶や自己紹介の表現ができるようになることを目標にし、手話の習得を目指しました。



開催日程

	開催日	開催教室	学習内容
第1回	10月3日	S306	指文字について知ろう
第2回	10月10日	S306	自分の名前を表してみよう
第3回	10月17日	S309	あいさつ表現を覚えよう
第4回	10月24日	S306	趣味や家族を紹介しよう
第5回	10月31日	S306	まとめの会

参加者の方々は、慣れない指の動きに戸惑いつつも、積極的に手を動かし、新しい言語を覚えようとしてくれました。「指文字しりとり」など、ゲームを取り入れたことで、手話を楽しんで学んでもらえたように思います。最終回には、ゲストとして聴覚障害をもつ友人にきてもらい、覚えた手話表現を使って全体で交流会をしました。全回参加の方が多く、さらに大学の手話サークルや、外部の企画に興味をもってくださった方もいて、有意義な交流会になりました。

反省点

企画後のアンケートのなかに、「回数が多かった」「内容についていけなかった」などとあったため、少し張り切りすぎて、押し付けるような交流会になってしまっていたかもしれません。スタッフによって、手話の習熟度に多少差があったものの、担当グループと変えていくことで、その点は上手くカバーし合えたと思います。

交流会の様子



回生は問わず、全くの初心者を対象に交流会を行いました。グループ分けをし、毎回担当のスタッフが交代していく形で進めていきます。全5回、段階を踏んでの習得を目指しました。配布資料を用意するなど、各スタッフが工夫をして内容を考え、簡単なゲームも取り入れながら学習をしました。



運営スタッフ 史学科1回光藤 国文学科2回北澤、田村 法学科3回田島